

2病棟

スマイルフラワー展

～2021夏の作品～

暑～い夏がやってきましたね。夏といえば、キャンプ、お祭り、海水浴、花火大会など楽しいイベントがたくさんある季節です。その中から「花火大会」をテーマにつるし花火を製作



しました。細長いカラーホイルを貼り合わせたり、カラーホイルや折り紙を切り紙したり、シールを貼ったり…子どもたちが自由な発想で製作してくれました。それぞれの花火に個性が光っていると思いませんか?花火の中に浮かぶ「イイね!メッセージ」がみなさんの背中を押すことができればうれしいです。売店近くに展示していますので、是非見に来てください。早く花火大会を楽しめる世界に戻りますように! (児童指導員 白松 美優)



通所支援事業のひとコマ

長かった梅雨がやっと明けた～と思ったら、じめじめ灼熱の夏が待っていました(溶けるよう)。通所支援事業では、今年の夏は「涼む」をテーマに、少しでも涼しく感じられるようにいろいろな活動を行っています。



まず手始めに、ペットボトルで風鈴づくりをしました。アジサイの壁面を作った残りの染め紙を短冊にして、下半分を切り落としたペットボトルにシールやマスキングテープで飾りを付けました。通所の入り口の自動ドアのところでユラユラ揺れながら、利用者さんの来院を心待ちにしていますよ。



続いてはお魚の壁面づくりです。プチプチにペンで色を塗ったら、透明感のある素敵なお魚が涼しそ

うな顔をして泳いでいます。

そして最後はかき氷づくりです。今回は壁面展示用のかき氷と、立体的なかき氷(フルーツのトッピングつき)、極めつけは本物のかき氷!の3つのかき氷づくりに取り組みました。本物のかき氷は、湯冷ましや麦茶を冷凍庫で凍らせて、かき氷機でシャカシャカ削っていきました。ビニール袋に入れて、手や顔に当てて「ひや～」としてみたり、少しだけお口に入れて冷たさを確かめてみたりしました。いつもの療育の時は「やっという」という利用者さんも、本物のかき氷づくりは「もっとやる」と何度も機械を動かして、「シャカシャカ」を楽しんでいました。

まだまだ暑い日が続きますが、今年の夏も「夏らしく」、熱中症と新型コロナに気を付けて、いろいろな活動を楽しんでいきたいです。(療育指導室長 村松 順子)



地域連携部門のご案内

当院は、患者・家族さんからのご相談窓口として「**医療福祉相談室**」、地域の医療関係者の方の窓口として「**地域医療連携室**」があります。

「**医療福祉相談室**」では、病気にともなっておこる経済的・社会的・心理的な不安や心配ごとに、多職種で連携して、一緒に考え解決のためのお手伝いをしています。

小さな図書コーナーもありますので、どなたでもご利用ください。

